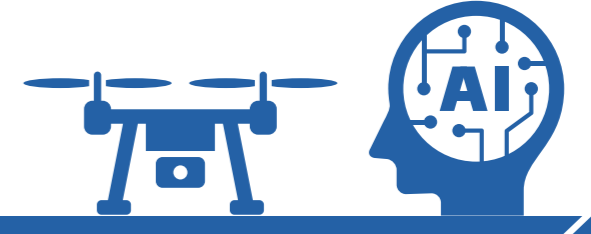


効率的・合理的な点検の新技術開発

国土交通省「道路土工構造物点検及び防災点検の効率化技術」



申請中

国土交通省道路局が令和 3 年 7 月に公募した「道路土工構造物点検及び防災点検の効率化技術」に、下記の技術を申請しています。

公募概要

道路土工構造物や自然斜面に対して、**近接目視によらない点検や地形判読等の人的誤差や労力を低減させる点検、法面崩壊に起因する兆候の把握などが可能な効率的・合理的な点検**について、調査・診断技術の将来的な研究・開発も視野に入れ、今回、「**土工構造物点検及び防災点検の効率化技術**」に活用できる技術公募を実施します。

国土交通省プレスリリース (2021 年 7 月 6 日) 資料より

各種カメラ搭載ドローンを活用した道路のり面管理技術

～広角・ズームおよび赤外線カメラを搭載したドローンによる効率的なり面維持管理技術～

【対象のり面 (モルタル)】



- ・広角カメラにより、対象構造物の**全体状況の把握**が可能
- ・対象構造物がコンクリート面の場合、**赤外線感知カメラにより「うき」の把握**が可能
- ・自然斜面や法面との境界部の浮石等の**第三者被害対象物の有無**がズームカメラにより確認可能
- ・飛行経路の記憶により前回と同角度での画像取得が可能で、映像記録が残るため**定期的なモニタリング**にも適用可能
- ・点検現場で撮影画像の確認が出来るため、**手戻り防止と効率化**が図れる
- ・**三次元撮影**により横断図等の自動作成が出来るため、設計や数量算出に活用可能

■ グリッド撮影



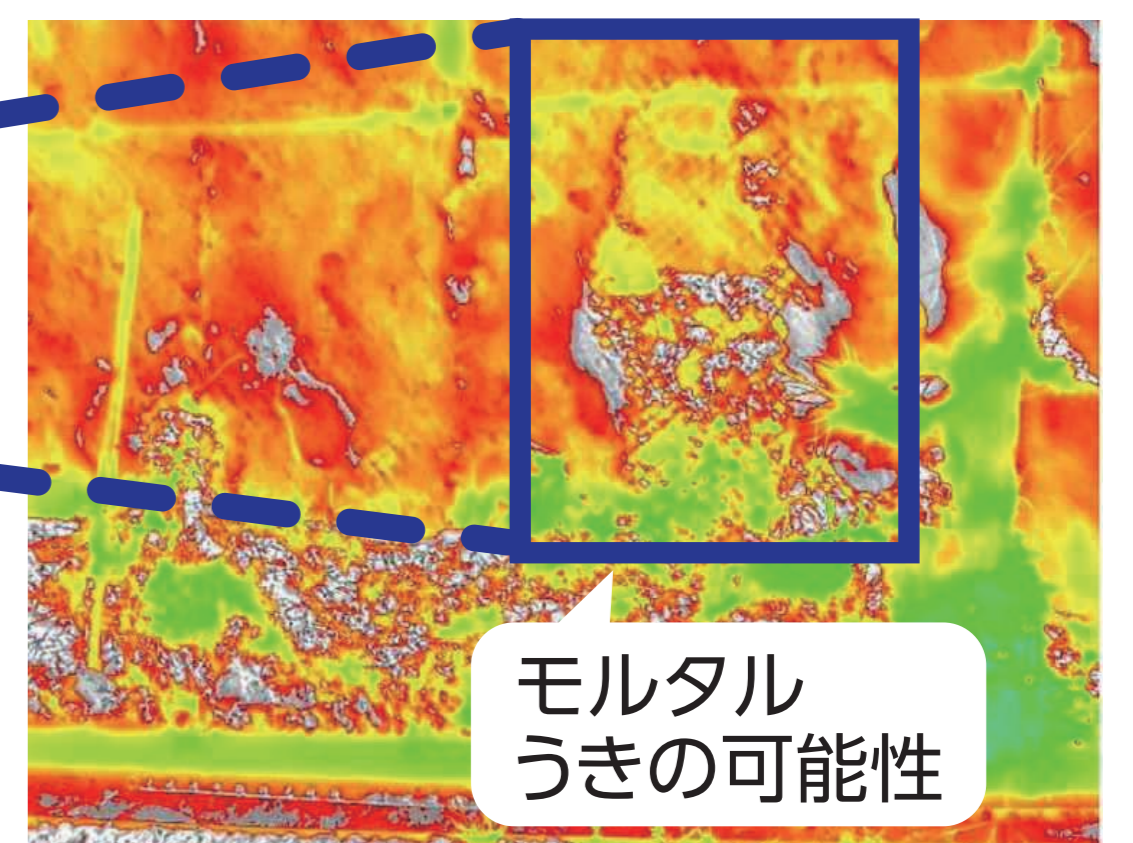
グリッド拡大画像



■ 可視撮影



赤外線撮影画像



【災害現場での実証】

【対象のり面 (災害現場)】



グリッド拡大画像



効果

- ・外業 (現場点検)・内業 (調書作成等) の縮減が可能
- ・点検用足場等が不要で、**労働災害防止等の労働環境改善**が図れる
- ・災害現場等で、被災前の状況や変状について、**保管する過去の点検映像との比較**が可能

申請者



株式会社
インフラ・ストラクチャーズ



有限会社
吉川土木コンサルタント



有限会社
伊藤建設

お問合せ先

株式会社インフラ・ストラクチャーズ

TEL : 022-796-9935

E-mail : info-is@infrastructures.jp

HP : <https://infrastructures.jp/>